

### 問 観光振興のための財源確保の考えは

答 来年度検討委員会を設置し議論予定



田中麻乃 議員

【観光振興に向けた新たな財源確保について】

問 観光立村である当村は、増加する外国人観光客を受け入れる公共交通や観光案内などの充実化など、様々な環境整備が急務。その財源の確保は。

答 観光地経営計画の中に、「観光振興のための財源の確保」の記載があり、受益者負担による新規財源を検討することとされている。このあり方について、来年度より観光振興のための財源確保検討委員会を設置し、有識者や関連事業者を交えて具体的に議論を進めていきたい。

問 国内観光地の競争力が増していく中で、村の観光地としての今後の対策や考えは。

答 国内観光地の競争力が増していく中で、村の観光地としての今後の対策や考えは。希望者全員が入園できるように

### 問 待機児童ゼロのための取り組みは

答 今年度中に保育園の改修で対応予定

【待機児童・保留児童問題】

働きたい親が安心して働けるように、未満児保育

希望者全員が入園できるように

取り組みべきだと考える。今後の未満児保育の見直しは。

答 未満児保育希望者は11月未時点の集計では55名、1月以降の待機児童は3名。希望者全員を受け入れるため、保育園改修を行い最大63名まで対応予定。今後も保育園の受入可能人数を超える状況に備え、既存施設や新たな施設建設も検討。

問 子育て支援ルームも含めた一時保育料補助についての考えは。

答 一時預かり事業の料金体系は、平成21年度に設けたもので、当時の未満児保育料の平均月額を基に算定。休日保育も含めて改定していく方針。

問 子育て支援ルームも含めた一時保育料補助についての考えは。

### 問 これからの子どもに必要な能力は

答 知・徳・体にわたる生きる力を育む

【これからの時代を生きる子ども達に求められる資



冬のシーズンは沢山の一時保育利用者が予想される。働きたい親が気軽に利用できる施設になることを願う。(子育て支援ルーム)

質・能力とそれを培う教育について】

問 近い将来、様々な労働がなく、頭脳労働の一部が人工知能に代替される時代が来る。こうした社会を生き抜くために、子供たちに必要とされる資質・能力についての考えは。

答 新学習指導要領では、①生きて働く知能・技能の

習得、②未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成、③学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養の3つの柱に再整理された。